

特許査定率ほぼ 100%の講師が、特許庁での審査経験を踏まえ、**事業・研究に役立つ『強い特許』を取得するために重要な他社特許の調査・分析方法と特許明細書の書き方について事例を交えて解説します。**

技術者のための特許分析と強い特許の作り方

～他社特許の弱点の見抜き方、アイデア（発明）のを見つけ方～

講師：福島総合特許事務所 所長 弁理士 福島 芳隆 氏

大塚化学（株）にて有機合成、新規農薬の研究開発に従事。退職後、特許庁・審査官として化学分野の審査に従事。その後、大手特許事務所の主任弁理士を経て 2016 年 1 月に福島総合特許事務所を設立。2016 年～2019 年 神戸大学 知的財産マネージャー（非常勤）、産官学連携本部 客員教授を歴任。2020 年より岐阜大学 工学部 非常勤講師 就任。「産、官、学」の全てを経験した弁理士という強みを生かし、技術者・研究者に対して、発明の初期段階から権利化商品化に至るまで、強い特許の取得方法、特許調査、研究開発支援等、幅広い総合的な知財経営支援を行っている。

●日程 2024 年 6 月 18 日（火） 13:00 ～17:00

●テキスト 電子データを配信（ダウンロード）

●受講料 33,000 円（税込） ※4/18（木）までにお申込の場合、**26,400 円（2 割引）**となります

<プログラム>

1. はじめに

- 1) 特許のメリット、デメリットを考えなおす
- 2) 現状把握（分析）の重要性

2. 強い特許をとるためには

- 1) 発明とは
- 2) 発明の把握
- 3) 「発明の本質」を考える重要性
- 4) 上位概念、下位概念
- 5) 特許制度の概要（特許審査の流れ）

3. 他社特許の分析方法

- 1) 文献の調査の重要性
- 2) 他社特許の検索方法
- 3) 他社特許の正しい読み方
 - ・審査官は、特許をこうやって読んでいます
 - ・発明の把握「発明の本質」を考える重要性
 - ・上位概念、下位概念
- 4) 他社特許の弱点を見抜く方法（事例紹介）

4. 出願前～出願時にすること

- 1) 強い特許の取り方
- 2) 強い特許明細書の書き方
 - ・審査官が嫌になる明細書

3) 請求項（クレーム）の書き方

- ・特許請求の範囲の基本
 - ・発明のカテゴリーを考える重要性
 - ・クレームの種類、作戦
 - ・クレームの書き方で審査室が決まる
 - ・引例が見つかりにくい書き方
 - ・発明者とは誰かを考える重要性
- 4) 必要な実施例、必要ない実施例（データの取り方）
 - 5) 必要な比較例、必要ない比較例

5. 出願後にすること

- 1) 他社に発明を公開する代償を考える
- 2) 国内優先権出願の活用
- 3) 外国出願の準備
- 4) 拒絶理由通知書に対する準備
 - ・審査官の論理構築（頭の中）を知る
- 5) 意見書・補正書の書き方
 - ・審査官が誤解していると思った時どうする？
 - ・審査官が嫌になる意見書
 - ・強い意見書（審査官が負ける意見書）の書き方
 - ・その補正は、本当に必要ですか？
- 6) 審査官への面接・電話・FAXの有効性

<講義概要>

知らず知らず、または特許取得を優先するあまり、狭い請求項（クレーム）で出願していませんか？狭い特許を取得しても、使われない特許を産んでいるだけかもしれません。逆に、欲張って広いクレームで出願し、何回も拒絶理由通知が届き、費用と時間ばかりかかって、あげ句に拒絶査定になっていたりしませんか？

これら課題を解決するには、（1）他社特許を適切に調査・分析すること、（2）特許を単に読むだけでなく正しく読むこと、（3）審査官の論理構築を理解すること、などが非常に重要になります。

本講座では、特許に関わる全てのポジションを経験した講師が、強い特許を取得するために重要な【他社特許の調査・分析（弱点の見抜き方）】、【出願前、出願時、出願後の実務と留意するポイント】を解説します。実際に特許明細書や拒絶理由通知を書く書かないに関わらず、発明者（技術者・研究者）が実務で生かせるよう分かりやすくお話しします。

<お申込要項>



下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

03-6261-7924

申込講座	2024/6/18 技術者のための特許分析と強い特許の作り方		
会社名※			
所在地※ (請求書等の送付先)	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF 請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先: entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合せ)		